

# 特殊接着剤を開発

チッソ水  
俣支社

九月から新工場建設

チッソ水俣支社は特殊接着剤の開発研究を進めていたが、九月早々にも新工場建設にかかり、来春から生産に乗り出す。

特殊接着剤は乾式接着剤「テゴフィルム」といってチッソ水俣支社が三年前から研究を進めてい

た。同工場で生産している「ビニレックF」（電線の被覆に使っている）の原料にさらに数種の成分を加えたものだ。

ナイロンやテトロン生地に「ビニレックF」や「ポリビニールブチラール」など数種の原料からなる樹脂を塗った幅一ダのテープ状のフィルムで、一定の温度と圧力をかけて接着させる。鉄道のレールの継ぎ目や高層ビルのドア、飛行機のドア、金属のはりつけなどに強力な接着力を持ち、各方面に用途も広い。

たまたま製法過程の一部にドイツのゴールドシュミット社が特許を持っていたため、すでに応用特許の部分を買うことに話が決まっている。

この種の特殊接着剤の企業化は全国でも珍しいといわれ、原料はチッソ水俣工場づくり、関連会社のチッソプラスチック工場が製品の生産をすることにしており、九月早々にもプラスチック工場わきに新しい製造機械を据えつける新工場の建設に着手する。生産開始は来年四月ごろの予定で、当初は月産一万五千平方尺の生産を目標にしている。